e－ビジネスの核となるERPソリューション

綿貫　寛*
稲垣洋光*
菊池正浩**

要　旨

企業を取り巻く経営環境はますます厳しくなり，事業スピード，価格競争，納期などすべての面で優位性を保たなければこの競争に勝ち抜くことが難しい状況となっている。

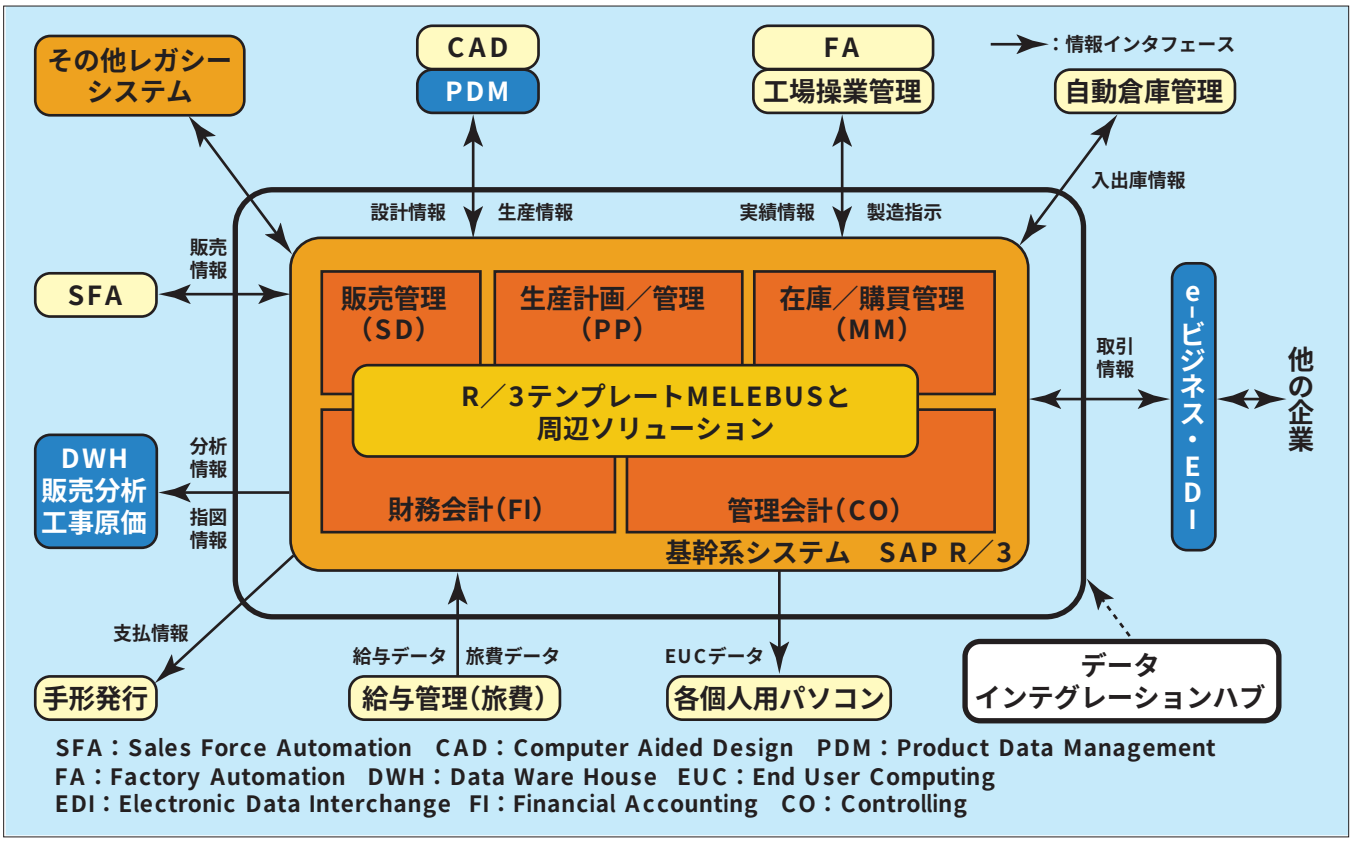
近年，上記を目的として，企業活動の仕組みをERP（Enterprise Resource Planning）パッケージを活用して見直し検討する企業が増加しており，さらに，西暦2000年を過ぎて，これを検討中の企業が一斉に具体的導入を開始している。

三菱電機（当社）では，ERPパッケージ“SAP R／3”(注)を利用した社内の情報システム革新を1994年から開始しており，この社内導入実績を踏まえて，'96年からERP事業（外販）を開始している。

ERPパッケージSAP R／3は，'92年にドイツから日本に上陸後，毎年，機能拡大，機能向上，操作性向上などを行い，2000年のリリース4.6Cでは，インターネット，e－ビジネス対応のソフトウェア（my SAP.com(注)）の発売を開始し，ERPパッケージとしては日本で約50%のシェアを得ている。

本稿では，当社が提供するERPソリューションを紹介する。特にSAP R／3を核とし周辺も含めた広義のERPソリューションを提供することにより，企業内最適化を目指したERPの世界から，企業間を含めた経営環境の最適化（SCM：サプライチェーンマネジメント）を実現，さらにはe－ビジネスへの展開を目指している。

（注）“SAP”R／3”my SAP.com”は，ドイツ及びその他の国におけるSAP AG，の登録商標又は商標である。



SAP R／3を核とした三菱電機ERPソリューションの全体図

三菱電機のERPソリューションは，ERPパッケージSAP R／3を核とした基幹系業務機能構築をベースに各業務運用に必要となる周辺システムを構築し，これらシステムとR／3とを有機的に結合させる情報連携インタフェースにより，企業全体が統合的にかつリアルタイムに運用可能となるERPシステムの提供を目指している。また当社は，今後のe－ビジネス展開に必要な仕組み作りにも注力している。

*三菱電機インフォメーションシステムズ㈱　**三菱電機㈱生産システム本部